

目次

献辞

藤田真一教授 略年譜	1
石上乙麻呂歌群の文学史的位置について	19
『古今和歌集』仮名序の用字法——「お」「於」「を」「越」を中心として——	37
升型本『古今和歌集』切の書写者は藤原俊成か	53
『本院侍従集』の構造——場面による歌群認識——	61
伝後深草天皇筆六半切源氏釈の新出断簡	73
伝慈円筆『寝覚物語』切の出現——「齋宮」再考——	81
『隣女和歌集』巻一の基礎的考察	89
「妖孽寛濶女」典拠考——「好色一代女」と『源氏物語』——	101
江戸における小三金五郎物の変容	119
芭蕉「梅花」考	135

	漢語の季語と古典の享受——俳諧における「葡萄」をめぐる——	中村真理	157
	芭蕉蔵伝承試論——中坊家と芭蕉——	三原尚子	173
	俳諧”ひとり”考	藤田真一	189
	青蘿と蝶夢——師弟関係を中心に——	富田志津子	209
	内藤鳴雪と『蕪村句集』——村上露月宛て鳴雪書簡を中心に——	黒川悦子	223
	海南新聞の俳句記事一斑『ほととぎす』創刊前夜	塩崎俊彦	239
	広津柳浪『雨』論——吉松お八重夫婦の悲劇——	平田恵美子	253
	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」論——シャーマンのイニシエーションの物語	ベルチャ アドリアン	267
	吉屋信子『空の彼方へ』における〈久遠の女性〉	木下響子	287
	火野葦平「白い旗」論——平家一族女河童の矜持と悲哀——	増田周子	303
	谷崎潤一郎「台所太平記」論——食を媒介とした女中と福吉との交流	猪口洋志	315
	井上靖「宦者中行説」論——匈奴を愛した中行説像	蘇洋	337
	古事記における漢文助辞「乎」・「哉」・「歟」・「耶」について	陳韻	357

近世初期の狂歌における異体仮名使用の実態……………田中已榮子 373
——『古今夷曲集』『吾吟我集』『半井卜養狂歌』を中心として——

国文学会彙報……………387

藤田真一教授 研究業績……………(1)

「感じがする」の前接要素と形態的特徴……………藏本真由 (15)

日韓における行為要求表現の運用に関する対照研究……………辻岡咲子 (33)

愛媛県南予地方の方言文末詞「テヤ」と共起する文タイプ……………中川寛之 (49)

談話展開からみた〈創生期〉の東西漫才……………日高水穂 (69)